

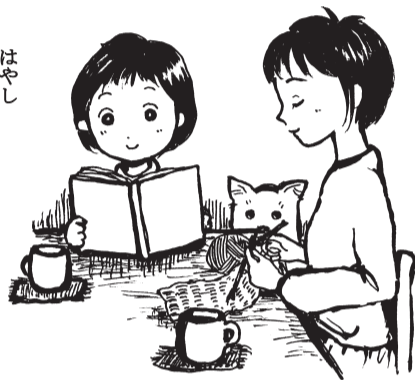


第357号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086) 420-1311



ながく生きてても



カット：本多 紘子

秋も深まり、どこからともなく秋祭りのお囃子が聞こえてくる昨今です。秋の夜長を楽しむ季節となりましたが、皆様お元気ですか。

近年は地球温暖化の影響で、日本だけでなく世界中が異常気象に見まわれ不安なことです。猛暑で人が熱中症で倒れたり、田や畑が乾燥して稲や小麦・トウモロコシなどの穀物が枯れたり、また台風や集中豪雨で山が崩れたり河川が氾濫して住宅が押し流されるといふ災害が連続しているのに、地球温暖化を止められないのは悲しいですね。

8月28日に九州北部を襲った大雨は、福岡県・佐賀県・長崎県で河川が氾濫し、浸水被害が相次ぎ、3県で87万人に避難指示が出る大災害となりました。佐賀県武雄市では短時間の大雨で、市街地が一面に茶色の水浸しとなり、愚僧も昨年の7月6日の西日本豪雨で小田川が氾濫し水没した倉敷市真備町と同じ光景に啞然としました。

また、9月9日に関東地方に上陸した台風15号は猛烈な風で、千葉県に甚大な被害を与えました。住宅の屋根を壊しただけでなく、電柱や鉄塔をなぎ倒し、電気が供給されず停電し、十日や二週間も日常生活に支障をきたした地域もあり大災害となりました。東京電力も正しい情報が入らず、復旧の対応が遅れたのはとても残念です。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

今年の「敬老の日」は9月16日でしたが、13日に厚生労働省は全国の百歳以上の高齢者が7万1238人になったと発表しました。調査を始めた1963年には百歳以上の高齢者は153人でしたが、56年間に7万1千人以上が増加し、2029年には18万人を超えるだろうと予測しています。それにしても女性の百歳以上が88%を占め、男性より長生きなのは驚きます。

大正・昭和の時代を生き抜いた人は、戦前、戦中に貧しい時代を過ごし、食べ物や着る物も不自由でした。医学も発達しておらず肺炎や疫病で老人や小さな子供たちをたくさん失いました。また戦争で多くの若者が戦病死したり、空襲や原爆で一般市民も焼け死んでおり、長く生きることが幸せのように感じ、戦後の日本は平和な長寿社会を目標に歩きました。お陰で便利で豊かな社会となり、医学も発達し、日本は長生き老人が増え続けたのです。子供たちの病気で死も減り続け、子供を産む数が減り、子供は少なくなった反面、高齢者は増え続けて、高齢者を支える年金制度や介護制度が機能しなくなり、認知症や老々介護問題で長寿社会に暗雲が立ちこめています。

75歳になる男性が、「定年退職してから妻に先立たれ、一人の子供たちも結婚し離れて生活しているので毎日がとても寂しい。何のため生きていいのかわからない」という悩み相談に來られました。愚僧もこの質問には返答に困りました。人にはそれぞれの価値観があり、生き方があるからです。若いときは懸命に働いて、家庭を築き、子供が独立すれば老後を悠々と生きるという人生観でしたが、妻に先立たれ、自分の身体能力が衰えていく老後生活に不安と孤独を感じ、生きる意味がわからなくなり、狼狽えていらつしやるのです。

『仏教』では、「自分の思うように生きられないし、死んでいけない」とあります。長寿で苦しむ人もいるし、短命でも充実した感謝の日々を送る人もいます。生まれてきて良かった。いつ死んでも悔いはないという生き方を、今こそ真剣に学ぼうよ。合掌 (奥原 曇龍)

『惜しまれて短命で逝く人あれば 長く生きても恥多し人あり』 どんりゆう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・十月 十日「木曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
十一月 三日「日曜日」 午前十時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



お釈迦様ものがたり 36

お釈迦様が、二十九歳から三十五歳までの六年間もの難行苦行は、菩提樹下のもとで座禅冥想をし、覚りとは何か、人間としての苦悩の根源とは何か、本当の幸せとは何かということを明らかにしたものです。

ブツダガヤで共に修行していた五人の比丘たちは、お釈迦様が難行苦行をやめて墮落したと誤解し離れて行ったが、彼らにこそ覚りの境地を伝えたいと、350キロも離れたインド最大の王国であったカーシー国の首都ベナレスの鹿野園にお釈迦様は向かいます。

ベナレスは聖なるガンジス河に沿って出来た水陸交通の要衝にあり、裕福な貿易商人たちがたくさんいました。また鹿野園は静かな広大な森であり、新進気鋭の哲学者や修行僧たちがたくさんいた場所です。ここで五比丘たちに説法(転法輪)して、理解を得ると言うことは、大きな意味を持つのです。

五人の比丘がお釈迦様の教えに帰依したとき、仏教教団が成立します。三宝に帰依することによって入門が許されたのです。三宝とは仏・法・僧のことで、仏とは真理に目覚めた者であり、法とは真理そのもの、僧とは仏陀の教えを信じ、実践する修行者のことです。三宝に帰依するとは、自己中心の生き方から真実を求めて生きる生き方を表しています。

お釈迦様は、ベナレスで五人の旧友たちが仏弟子として帰依した後に、長者の子ヤサを出家させました。ヤサは贅沢の生活をなして何不自由のない身であり、美しい妻を娶っていたにも関わらず、人生に虚しさを感じていました。ある日、お釈迦様が冥想をしている前を、「ああ悩ましい。ああ悩ましい」と口ずさみながら通り過ぎようとした。

その時、お釈迦様は「ここに悩みはない。ここに煩いはない。ヤサよ、君のために教えを説こう」と説法します。ヤサは説法に感動し、喜んで弟子となります。合掌(奥原曇龍)

秋風や行きたい方へ行けるまで

彼岸花咲くともしびの寺

田辺多恵子



9月5日 ともしび説法の休憩での軽食

ともしび法話

秋も深まり、青空が澄み渡る季節です。今年の九月は秋雨前線の長雨や異常な猛暑に驚きましたが、皆様お元気ででしょうか。心光寺も十一月三日の秋の法要の準備で大変です。皆様、是非お参り下さい。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

昨年の七月、西日本豪雨で小田川が氾濫し、住宅の二階近くまで浸水し、辛い思いをしていましたが、このたび家を改築し、一年二ヶ月ぶりに真備に戻りました。失ったものを歎くより、前向きに歩みたい。倉敷市真備町 岡村 勝

十一月三日(日)は心光寺の秋の法要があり、お手伝いしたいと思っています。午前はハッチポッチの歌とオカリナ・ピアノ演奏、またメロディアのサククス&ピアノ演奏、午後からは法要儀式と仏教講演があります。檀家以外の方も参加OKですよ。倉敷市藤戸天城 福原 浩子

誰でもが気軽に参れる心光寺

秋空に響くお経と音楽

倉敷市連島 徳田 勉

ともしび説法

日時・十月 十日「木曜日」 午後一時から午後四時頃まで。

十一月 三日「日曜日」 午前十時から午後四時頃まで。

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて

電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

十一月 三日(日)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。

ピアノ・サククスフオン演奏、報恩講法要儀式、仏教講演。

十二月 六日(金)・午後一時から午後四時頃・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。

ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



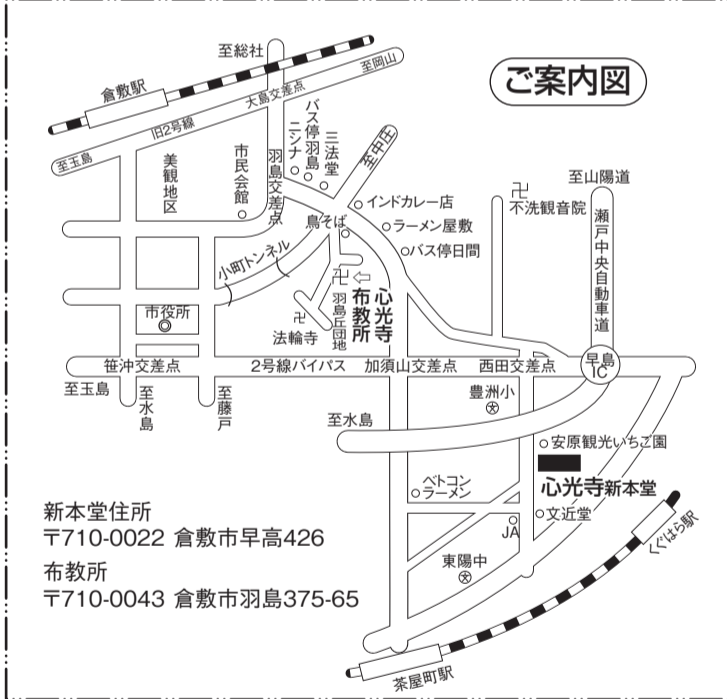
心光の詩

深まりゆく秋
夏の猛暑も過ぎ去り
西に沈みゆく夕陽に涙ぐむ
抜き差しならぬ人生の壁も
念ずれば花開くように
のどかに通り過ぎゆく
流した涙の数だけ強くなろうよ



カット:吉岡美枝

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 高橋様 3千円
倉敷市 橋本様 4千円



浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「357号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。11月3日の法要の日には、倉敷駅西ビル横の駐車場に9時40分、茶屋町駅西口に10時に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡を下さい。合掌 心光寺 総代長 三村 健